

ごみ減量・3R活動優良事業所 取組内容情報提供シート

＜取組内容＞

(記入日 平成27年10月26日)

事業所名	京都工芸繊維大学	認定番号	2701001
所在地	京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地		
取組内容	リデュース (発生抑制)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減・分別収集システムを構築して運用。 ・EMSで紙使用量の削減目標値を設定(1%減/年)。 ・両面コピーおよび不要紙の裏面利用の推進。 ・伝達手段などのペーパーレス化(電子メールの利用など)。 	
	リユース (再使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みコピー用紙など裏紙利用。 ・「物品リユースシステム」により、不要物品等のリユース情報を学内に周知し、再利用。 ・毎年11月に古本の無料市「KITぷらっとお持ち帰りフェア」を開催。 	
	リサイクル (再資源化)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収リサイクル用のごみ箱を設置(あきびん、あき缶、PETボトル、生活系プラスチック)。 ・廃棄物集積場で、再資源化できる缶類(飲料缶)、びん類(飲料びん、薬品びん)、PETボトル、生活系プラスチックを分類。生活系プラスチックも80%以上をリサイクル。 ・PETボトルのふたも回収ー「エコキャップ運動」に協力。 ・古紙の分類について、2013年度から従来の新聞、白上質紙、段ボール、シュレッダーダスト紙などに「雑がみ」を加えて6種類とし、積極的に回収・リサイクルを実施。 ・生協など食堂で廃油を回収し、リサイクル。 ・紙コップを回収し、トイレトペーパーなどにリサイクル。 ・廃PET自動回収機を設置し、PETリサイクル事業を実施。 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に新入生オリエンテーション、環境安全教育デーなどでEMSの教育・研修、講演会などを実施。 ・エコ月間(6月)に公開講演会などを実施。 ・未利用資源有効活用研究などで未利用の繊維製品、農業・森林資源の活用に関する先端研究を実施(野菜シートやカラフルマグネットバーのリサイクル事業化など)。 	
取組紹介 web ページ	http://www.kit.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2013/06/kankyo_20151.pdf		
環境マネジメントの取組等	ISO14001, エコアクション21		

取組写真 情報提供シート

取組①

(写真)



(説明)

・古紙の分類は、2013年度から従来の新聞、白上質紙、段ボール、シュレッダーダスト紙などに「雑がみ」を加えて6種類とし、積極的に回収・リサイクルを行っている。

2015年4月からは、各研究室や学内のリサイクルごみ箱横に「雑がみ」の回収箱を設け、学生も協力して「雑がみ」の回収に取り組んでいる。

取組②

(写真)



(説明)

・毎年11月に古本の無料市「KIT ぷらっとお持ち帰りフェア」を開催している。図書館で不要となった図書や、教職員・学生、地域住民、OB・OGから提供を受けた図書を利用者に無償で提供することで、図書の有効活用と、読書や図書館活動に関心を持ってもらうことを目的に、読書週間に合わせて実施している。

取組③

(写真)



(説明)

・生協において紙コップをリサイクルして作ったティッシュペーパー販売

・紙コップ回収率アップのため販売時に10円のデポジットを載せて販売。回収機に紙コップを投入すると10円が返金される仕組み（回収率はおおよそ95%）

・集まった紙コップを業者が回収して、ティッシュペーパー等に再資源化。それを生協で仕入れて販売するという仕組み